

地域に伝わる伝説を学んだ授業
|| 浜松市天竜区



犬居小 静岡文化芸術大ゼミ生招き

浜松市天竜区春野町の犬居小がこのほど、静岡文化芸術大(中区)二本松康宏ゼミ(伝承文学)の学生を招き、犬居地区に伝わる伝説や昔話を学ぶ授業を行った。

児童は学びを生かした劇を、12月2日の学習発表会で披露する予定。

同ゼミは天竜区内各地の高齢者などから民話や伝説を聞き取り、採録する活動を進めている。授業ではゼミの4年

地域の伝説・昔話学ぶ

来月、学習発表会で劇披露

生4人がスライドや動画を用いて伝説の内容を説明。大雨で気田川があふれた際に竜が堤防の代わりになって集落を守った「犬居のつなん曳(びき)」の由来など4話を紹介した。

児童は4話のうち「徳川家康と和田之谷の桶屋」と「新宮池の大蛇」の2話を劇で発表する予定で、学生が作った台本を読み上げて練習した。

6年の秋元瑞希さん(12)は「動きをつけながら頑張って演じたい」と意気込みを語った。